



株式会社カブトプラテク

町へ窓口用クリアパネル寄贈



新型コロナウイルス感染症における飛沫感染防止に 役立てて欲しいと、株式会社カブトプラテクからクリ アパネル3枚の寄贈がありました。

代表取締役である加部東裕子さん(写真中央)は、 「茨城町の企業として、いま町に何かできることはな いかと考えた」とのことで、樹脂素材加工のノウハウ を生かし、窓口業務に活用できるクリアパネルの製 造、寄贈に踏み切ったことを語りました。

小林町長は、「軽くて頑丈な、透明度の高いパネル の制作はこういった企業ならでは。窓口カウンターで の感染対策に活用したい」と謝辞を述べました。

介護保険負担限度額認定の申請について

≪施設入所利用者の食費・居住費に係る減額措置≫

介護保険施設に入所(ショートステイ利用時も含む)し、下表に該当する方は食費と居住費の減額措置を受けることができます。 現在、負担限度額の認定を受けている方については、令和2年7月31日をもって有効期限が満了となります。8月1日以降、 改めて申請する必要がありますので、忘れずに申請してください。

また、令和元年度において非該当になった方も、今年度は該当になることがありますので、対象者に該当する場合は申請して ください。なお、申請には通帳のコピー(2か月以内に記帳したもの)・印鑑・介護保険被保険者証等及びマイナンバーの記載が 必要となります。また、申請に来た方と介護を受ける方の身元を確認できる書類(運転免許証、保険証など)を持参してください。

- ▶更新期間 令和2年8月3日(月)~令和2年8月31日(月)
- ▶減額対象者の要件と自己負担の上限日額

世帯の所得状況	居住費(滞在費)					食費
	ユニット型 個室	ユニット型 個室的多床室	従来型個室 (老健・療養等)	従来型個室 (特養等)	多床室	及其
生活保護の受給者等	820円	490円	490円	320円	0円	300円
住民税非課税世帯で、本人の課税・非課税年金※1収入額と合計所得金額の合計が80万円以下、預貯金等が単身1000万円、 夫婦で2000万円以下の方。	820円	490円	490円	420円	370円	390円
住民税非課税世帯で、本人の課税・非課税年金※1収入額と合計所得金額の合計が80万円を超え、預貯金等が単身1000万円、 夫婦で2000万円以下の方。	1,310円	1,310円	1,310円	820円	370円	650円

※1平成28年8月1日から非課税年金(遺族年金・障害年金等)を収入として算定しています。

▶特例措置について

食費と居住費の減額措置の認定が非該当になる方でも下記の要件すべてに該当する場合、特例的に減額措置を受けること ができます。

▶特例減額措置該当要件(<mark>すべて</mark>に該当すること)

- 世帯の構成員が2人以上であること
- 介護保険施設に入所し、食費・居住費の負担を行っていること(ショートステイ利用含まない)
- 世帯の年間収入から施設の利用負担の見込額を除いた額が80万円以下となること
- 4 世帯の現金、預貯金等(有価証券、債券等も含む)の額が、450万円以下であること
- 5 世帯がその居住の用に供する家屋その他日常生活に必要な資産以外に利用し得る資産を所有していないこと

·······

6 介護保険料を滞納していないこと

【申請・問合せ先】長寿福祉課 ☎ 029-291-8407 (直通)



茨城ひぬまライオンズクラブ

町内小・中学校へマスク寄贈



茨城ひぬまライオンズクラブ(吉澤亮一会長)か ら、マスク6,000枚の寄贈がありました。吉澤会長ら 同メンバー全体で出資して購入したとのことで、吉澤 会長は「コロナウイルスに負けないよう、学校に優先 して配布して欲しい」と語りました。

小林町長は「分散登校などで徐々に子どもたちが学 校に戻ってくる。その健康を守るために活用したい」 と謝辞を述べました。

町では同日、町立小・中学校6校に、各校あたり 1,000枚のマスクを配布しました。

株式会社白梅商事

青葉小へマスク寄贈

5/19



廣澤一浩さん



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、町ス クールバス事業に携わっている株式会社白梅商事か ら、マスク1,000枚の寄贈がありました。

市毛勝利会長(写真中央右)は、「スクールバスに 乗り込む児童たちの元気な声が聞けなくなり、改めて コロナウイルスの恐ろしさを感じた。学校が再開し、 児童たちが健康に不安なく元気に通えるよう活用して ほしい」と語り、小林町長へ目録を渡しました。

寄贈されたマスクは翌日、青葉小に配布されまし た。



高根澤雅明さん 町へマスク寄贈



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、高根澤 雅明さん(網掛、写真右)から、マスク500枚の寄贈 がありました。

町役場で行われた贈呈式で、高根澤さんは、「困って いる方や、感染リスクの高い方へ優先的に配布してほ しい」と語り、小林宣夫町長にマスクを手渡しまし た。

小林町長は「各地でマスクが不足して貴重になって いる中、個人の方から寄贈いただくのはありがたい と感謝の意を表しました。

5/15

町へマスク寄贈



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、廣澤一 浩さん(鳥羽田、写真右)から、マスク10,000枚の 寄贈がありました。

ロータリークラブ経由でマスクを購入した廣澤さん は「町ではさまざまな配布計画があると思う。町全体 で有効活用してほしい」と語りました。

小林町長は「備蓄を計画的に配布している中、こう した善意の心遣いは大変ありがたい」と感謝の意を表 しました。

9 2020.7 広報 いばらき 2020.7 広報 ()ばらき 8